

# 室神山

学校便り

平成30年5月17日号  
江津市立江津東小学校長 安食 徹

## 1年生の様子



4月入学して間もない1年生は、まだ緊張感や不安感が残っているようですが、徐々に学校の生活に慣れてきたようです。5月7日(月)には2年生の案内で、学校探検をしました。2年生は1年生を連れて上手に案内

内をしたり、一生懸命に説明したりしていました。1年生ができるだけ早く小学校生活に慣れ、元気いっぱい自分らしくのびのびと生活できるようになってほしいと思います。

## 授業公開日、PTA総会

4月20日(金)に今年度初の授業公開日、PTA総会を実施しました。保護者の皆様には多数ご参加いただき、誠にありがとうございました。子どもたちも緊張したことと思います。しかし、しっかりと学習に取り組んでいる姿を保護者の方々に見ていただいたことは、子どもたちの大きな励みになったに違いありません。子どもは温かい眼差しに包まれてこそ、最大の成長を遂げます。今後とも、授業公開日や学校行事へ積極的にご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

PTA総会では、学校経営の説明に加え、次のような内容の話をしました。

「確かな学力」「生きる力」とは、究極的には「幸せになる力」「日々幸せを感じながら生きる能力」だと思います。いくら知識が豊富で、知的能力が高くても、それを犯罪に使ったり、自分や他者が不幸になるように使ったりするのでは意味がありません。そのためにも道徳教育や人権・同和教育、情操教育などをバランス良く取り入れた全人的な教育は不可欠です。幸せにつながる学力では意味がないのです。

また、「幸せ」とは何だろうと考えた時、究極的には「感謝できている心理状態」だと考えます。人でも、自然でも、神仏でも、事柄でも、何かに感謝できているとき、人は幸せです。感謝しながら不幸な気持ちになる人はいないと思います。『人は幸せの度合いに応じて感謝するのではない、感謝する度合いに応じて幸せになるのだ』という言葉もあります。

学校では、日々いろいろなことが起きます。楽しいこと、嬉しいことだけでなく、その逆の辛いことも起きます。どちらも一緒にいる仲間がいるからこそ起きることです。日々起こる様々なことを乗り越えていって、最終的に感謝に昇華することができれば、力が湧き、夢が育まれていくはずですが。そのため、子どもたちが他者と関わり合う体験的な教育活動を多く取り入れたいと思います。私たち教職員も一丸となり、様々な出来事を学びの材料に変え、最後には感謝できる結末へ導いていけるように、子どもたちの心に寄り添いながら、支援、指導に全力を尽くしていきたいです。

また、教育は教師と子どもとの間に尊敬や敬意がある時、最大の効果を上げます。そうなるために教職員は日々自己研鑽に励むことが必要です。そして、同時に子どもたちが他者の良さを見つけ、他者を素直に尊敬することができる力を身につけることが重要と考えます。人は尊敬する人のようになりたいと憧れる時、強烈な学習意欲が湧きます。ですから、他者を尊敬できる子どもを育てていくことが最高の教育に近づく道だと思っています。「山川草木皆師也」、自分以外を全て師とし、尊敬できるならば、本当に豊か

な人生を送ることができるはずだと思います。自分以外のものに尊敬と感謝を持って人生を歩んでいける子どもたちを育てられるように頑張っていきたいと思います。

そして今年度は寛容を付け加えます。赦す力のことです。自分や他者を優しい眼差しで見て、理解し、赦す力です。幸せになるための原動力になります。世界は自分の思いを投影する鏡であると聞いたことがあります。基本的自尊感情が低く、自分を優しい目で見られない人は、他者に対しても優しい目を向けられず、簡単に批判してしまいます。他者を批判したり、決めつけたりする力は、良好な人間関係の構築を阻害します。「人は誰もが自分と同じように一生懸命生きている仲間だ」という感覚や捉え方は、「自分ばかりが一番大変だ・かわいそうだ」という自己憐憫の苦悩を緩和し、他者理解の力を高めます。他者を理解しようとする心構えは、良好な人間関係構築のための強力な接着剤となります。社会的な「つきあい」から、心と心の「ふれあい」へと交流の質まで変えていきます。そのような力を、コミュニケーション能力を、是非子どもたちが身につけていってほしいと思います。

『㊦とにやさしくできる子、㊧んばって学ぶ子、㊨んが強くたくましい子』を目指し、感謝・尊敬・寛容の三つの心の力を育ていけるよう、職員一丸となり頑張っていきますので、どうかよろしく願いいたします。

最後に、親は自分の子どもが一番大事ですし、そうでなければ困ります。しかし、自分の子ども一人だけがいい子になることはできません。人は社会的な生き物です。ですから、自分一人だけが幸せになることはできないのだそうです。教育界において『掃き溜めに鶴』はあり得ないのです。「幸せになるなら、みんなで！」が鉄則のようです。非現実的だと思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、その方向を目指している間、社会は健全な流れ（幸せに向かう流れ）を保つことができると思います。自分の子がいい子になるためには、まわりの子もいい子になってくれなくては無理なのです。そのためにPTAがあります。あらゆる組織は、そもそもみんなの幸せを目指して作られたのです。PTA会員みんなが手をつなぎ合って、江津東小学校の子どもがいい子になるよう、そしてみんなが幸せになるよう、今後のPTA活動の充実に向けて、ご理解ご協力を賜りますよう、何とぞよろしく願い申し上げます。

## 1年生を迎える会



4月26日（木）に1年生を迎える会がありました。6年生が中心となって会を企画・運営してくれました。6年生として本格的に全校を動かすという経験は今年度初めてであり、ずいぶん緊張したのではないかと思います。しかし、1年生が喜んでくれるようと、様々なアイデアを出し合って、クラスで協力し合い、丁寧に準備を進め、楽しい会を開いてくれました。ゲームも新しいものを考えました。校内ウォークラリーでは、各班をうまくまとめ、安全に楽しく活動しました。6年生のリーダーシップが光っていました。進行中に起こる少々のトラブルも自分たちで対応を考え、柔軟性を持って対処することができていました。



とても頼もしく感じました。これから最高学年として全校を動かし、リードしていくことが多くなる6年生です。今日の経験をもとに、これからも一層成長して行ってほしいと思います。

また、1年生も、けじめをもって、しっかりと参加できました。落ち着いた立派な態度でした。感想発表の時、手を上げて堂々と発表した子もいました。大勢の中でも、物怖じせずに発言できる1年生に驚かされました。これからは、学校生活の中で、しっかり学び、しっかり遊んで、力を伸ばして行ってほしいと思います。楽しい思い出をたくさん作って行ってほしいと思います。



## 東っ子チャレンジ

5月11日（金）の1校時に、今年度初めての東っ子チャレンジを行いました。全校が静まりかえる中で、子どもたちは計算と漢字のテストに一生懸命に取り組んでいました。基礎学力を身につけるには、根気強い反復練習が必要不可欠です。これから、毎月実施する東っ子チャレンジをうまく活かして、望ましい学習習慣を身につけることができるよう指導に力を入れていきたいと思えます。ご家庭でも意識付け、励まし、声かけなどで、温かく応援していただきますよう、よろしくお願いいたします。



## 交通安全教室

5月11日（金）に3名の警察官の方に来ていただき、交通安全教室を実施しました。全体指導の後、低・中・高学年に別れて、歩行や横断、自転車の乗り方などの実技指導



を受けました。子どもたちは真剣な表情で、交通安全教室に参加していました。交通量の多いところなど、危険箇所の多い地域ですので、安全への意識をしっかりと高め、自分の安全を守る力を高めて行ってほしいと思います。今日の交通安全教室を機会に、今後も引き続き、交通安全を含めて、大切な命を守るための安全教育を推進していきたいと思えます。

## 赤ちゃん登校日

例年のように高塚人志先生（元鳥取大学医学部特任教授）に来ていただき、5月15日（月）にプレ赤ちゃん登校日（赤ちゃん登校日前日の事前指導）、5月16日（火）に第1回目の赤ちゃん登校日を実施しました。平成21年度に田中康夫校長先生（当時）が導入され、今年度で10回目となります。本校の伝統となったこの取組を、子どもたちはとても楽しみにしていましたが、さすがに初対面の1回目はずいぶん緊張した面持ちでした。これから赤ちゃん親子との出会いを重ねる中で、子どもたちは沢山のことを学んでいくことだろうと思えます。1回目の今回は、高塚先生の「ありがとうの気持ちを忘れないで、

感謝の心を持ち続けてほしい」という言葉が心に響きました。きっと子どもたちの心にも届いたと思います。今回の経験を通して、自分自身が大切に育てられてきたことに思いを馳せ、愛情を込めて世話をしてくださった方々へ対して、改めて感謝の思いを強くしてほしいと思います。



毎年感じるのですが、5年生という多感な時期に、赤ちゃんやそのご両親との生の出会いという貴重な経験をさせてもらえることは大変有り難いことだと思います。この出会いが持つインパクトは、教育上大変意味があることだと確信できます。このような機会に恵まれている

ということは、全国の小学生の中でも希有なことであります。この教育活動を進めるにあたって、子育てサポートセンターの皆様を初め、関係の皆様にご多大のご尽力を賜りますこと、本当に感謝です。第2回目は6月5日(火)、最終の第3回目は7月5日(木)のいずれも午前9時30分から、体育館において行います。観覧席も用意しておりますので、ご興味のある方は是非ご来校ください。

また、4年生は6月5日午後1時30分よりコミュニケーション講座を行います。来年度の赤ちゃん登校日に向けての事前学習の意味を持ちます。コミュニケーション能力を身につけるには、体験的な学習の積み重ねが必要です。今年度は再び6年生がJ P X 起業体験プログラム(平成28年度に実施)に取り組むことになりました。4年生以上は、他者との関わりを通じた体験的な学習への取組を充実させていき、実際に社会でも役立つコミュニケーション能力を獲得させていきたいと考えています。



## 「学校図書館活用教育研究事業」研究指定校

昨年度まで2年間は国と県の研究指定を受け、人権・同和教育の研究に取り組んで参りました。今年度は1年間、学校図書館教育の県の指定を受けて取り組むことになりました。昨年度まで取り組んできた人権・同和教育の成果を基盤にして、研究主題『共に学び合う子どもの育成～学校図書館の活用を通して～』を掲げ、研究実践に取り組んでいきます。子どもたちの情操を深め、学力を高め、知・徳・体バランスの取れた全人的な教育を充実させられるよう職員一丸となって研究を推進していきたいと思ひます。

## 第93回玉江少年体育大会迫る

玉江少年体育大会が5月26日と迫りました。選手も応援団も一生懸命練習しています。3年生以下の児童もミニ玉江大会に向けて張り切っています。全校一丸となって取り組み、江津東小学校の仲間の絆を強くしてほしいと思います。結果は後からついてきます。自分自身と向き合い悔いのない一日にできること、仲間と心を通じ合わせることが一番大事だと考え、指導していきます。応援よろしくお願ひいたします。



## お礼

都治地区コミュニティー協議会女性活動部会より、ゴキブリ駆除用のホウ酸団子を寄贈して頂きました。学校の衛生環境をよりよくするため、有効に活用させて頂きたいと思ひます。大変ありがとうございました。